

学習指導プラン

小学校道徳科第1学年

主題名 みんなのことをかんがえて

内容項目

C-(10) 規則の尊重

1 本主題で扱う学習指導要領の内容項目

小学校第1学年及び第2学年

C 主として集団や社会との関わりに関すること

規則の尊重 (10) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。

2 主題設定の理由

ねらいとする価値について

児童の実態について

「公共心」とは、社会全体のために尽くそうとする精神である。また、「公德心」とは、社会を構成する一員として正しい在り方を尊重しようとする精神である。この二つは社会の安定と発展において互いに補完し合う重要な要素であり、豊かで幸せな社会の構築に寄与するものである。法律や規則を遵守することは言うまでもないが、それらはあくまで二つの精神が根底にあることが前提である。今後、どのように社会構造が変化していったとしても、集団や社会を構成する一員としての意識をもち、その中で連帯しながら、それぞれの人にとって快適で過ごしやすく、幸せな社会を実現しようとする態度を育成することは、普遍的な価値をもつと考える。

省略

教材について

教材「ごちそうさまのあとで」は、文部科学省が作成した「小学校道徳 読み物資料集」（平成23年3月発行）に掲載されている、低学年向けの読み物教材である。本教材では、給食で使用されたスプーンが、返却されるにつれて向きが違っていたり高さが異なっていたりとならばらになっていく。その様子に気付いた2名の児童が、その都度向きや高さなどを整理して、最終的には学級としてきれいに返却できた、という内容である。実際の学校生活においても、児童が個別に使っている物の中に、公共物が含まれているという意識は高くない。また、給食後にスプーンを返却するという行為は一瞬であるため、その前後に関わる人やその後の影響などを考える機会はありません。さらに、昼休み前ということもあり、自分の都合を優先するあまり後先考えずに行動してしまうことも多い場面と言える。場面設定や内容が、公共心や公德心のよさや大切さに触れることができる教材であると言える。

指導について

指導に当たって、教材中の「スプーンがそろっている」という結果のみに目を向けさせるのではなく、その実現過程にある様々な葛藤や難しさについて、自分自身を振り返ったり、教材や他者との交流をしたりすることで、ねらいとする道徳的価値を実現することの意義について追求できるようにする。

導入では、結末の写真を提示し、「物が整頓されていることはいいことである」という、これまでに培われているであろう一般的な価値観を共有する。

展開では、結末に至るまでの過程を順に写真で提示し、スプーンが整ったり乱れたりを繰り返していることを理解できるようにする。それぞれの写真について、「よいと思うところ」「問題だと思うところ」の二つの視点で、「関係する人物」「行為」「気持ち」のそれぞれを考えることができるようにする。導入でのねらいとする道徳的価値のよさや大切さの理解を基に、視点を明らかにしながら、対比的なものの方や考え方を可視化することで、人間理解や他者理解を深めることができるようにする。

終末では、道徳的価値を実現することについて改めて考えることができるようにする。「みんなのことを考える」ということは、最終的な見た目などの様相で判断されたり、特定の人物だけが実践したりするものではなく、その過程に関わる全ての人が道徳的価値を実現するために自ら実践しようとする意識的な態度が必要であることに気付くことができるようにする。

また、学習指導過程に、発問や問い返しに対する児童の反応に応じて、適宜「書く活動」と「話し合い活動」を取り入れる。それぞれの活動を通して、児童自身が自分との対話、教材との対話、他者との対話を繰り返すことで、ねらいとする道徳的価値の自覚を深めることを促す。

3 本時のねらい

みんなが気持ちよく過ごすためにできることを考え、進んで行動しようとする実践意欲と態度を育てる。

4 本時の展開

過程	学習活動	主な発問（○） 予想される児童の反応（・）	◇ 指導上の留意点	
導入	1 給食の時間を振り返る。	○今日の給食の時間について先生に教えてください。 ・きょうのきゅうしょくのメニューは…だったよ。 ・おいしかったから、おかわりをしたんだ。	◇ 給食の様子について問い、その場面を具体的に想起できるようにする。	
	2 写真①を見て、どのような学級か考える。 3 公共物を大切にすることのよさについて考える。	○これは、ある学級の給食の後の写真です。皆さんはこれを見て、どう思いますか。 ・きれいにかえすことができてえらい。 ・ちゃんとできている、いい学きゅう。 ・先生のいうことをきちんときいている。 ○みんなで使う物を大切にすることで、どのようなよいことがありますか。 ・ほかの人がこまらない。 ・かたづけやすい、もっていきやすい。あんぜん。 ・おちたり、なくなったりしない。 ・見た目がいい。気持ちがいい。ほめられる。	◇ 写真①を提示し、そこから感じたことや考えたことを発表することができるようにする。 ◇ みんなで使う物を大切にすることの一般的なよさについて考え、共有することができるようにする。	
展開	4 写真①～⑦を見て、再度どのような学級か考える。	○今から見せる写真も、先ほどと同じ学級のもです。皆さんは、これらを見てどう思いますか。	◇ 写真②～⑦を順に提示し、全ての写真を通して、内容の展開を確認する。 ◇ 「よいところ」「問題だと思うところ」という視点で整理することができるように、それぞれの写真について、「人」「行為」「気持ち」に着目して話し合うことができるようにする。	
		<table><tr><th>よいところ</th><th>もんだいだとおもうところ</th></tr><tr><td>・さいしょの人はきれいにしているね。 ・と中に、なん人が気づいた人がいるみたいだね。 ・気づいたあとに、きちんとこうどうしているところがすごいね。 ・やさしい人もなん人がいるみたいだよ。</td><td>・ほとんどの人は、ばらばらのままかえしているよ。 ・「だれかがしてくれるだろう」「じぶんはかんけいない」とおもっている気がするな。 ・先生にちゅういされるまで、このままなのかな。 ・だれかにまかせっぱなしの学きゅうは、よい学きゅうなのかな。 ・気づいた人は、「ばらばらだよ」とおしえてもいいね。</td></tr></table>		よいところ
よいところ	もんだいだとおもうところ			
・さいしょの人はきれいにしているね。 ・と中に、なん人が気づいた人がいるみたいだね。 ・気づいたあとに、きちんとこうどうしているところがすごいね。 ・やさしい人もなん人がいるみたいだよ。	・ほとんどの人は、ばらばらのままかえしているよ。 ・「だれかがしてくれるだろう」「じぶんはかんけいない」とおもっている気がするな。 ・先生にちゅういされるまで、このままなのかな。 ・だれかにまかせっぱなしの学きゅうは、よい学きゅうなのかな。 ・気づいた人は、「ばらばらだよ」とおしえてもいいね。			
終末	5 学習を振り返る。	○7つの写真を見て、どのようなことを考えましたか。 ・だれかだけではなくて、みんなでがんばりたいな。 ・「やらないといけないからする」ということも大じだけど、それはみんなのためになっていることにつながっているんだよね。 ・みんなが気をつけないと、本とうにいい学きゅうにはならないな。 ・人から言われるまで気づかないとか、うごかない学きゅうとかじゃなくて、じぶんたちで気づくことができる学きゅうにしていこう。 ・早くあそびたい気持ちもあるけど、だれかがしてくれるばかりではいけないよね。じぶんのためだけではなくて、ほかの人のためにはたらける人になりたいな。 ・さいごの見た目だけがきれいでも、本とうにみんなのことをかんがえているとはいえないね。 ・ほかの人のことをかんがえる気持ちを大せつにしたいな。 ・すごしやすいクラスは、みんながきょう力しないといけないんだな。	◇ これまでの自分自身の経験を基に、心に残っていることや、大切だと思っていたことなどを振り返り、他の道徳的価値に触れながら話し合うことができるようにする。 ◇ 意見が出にくい場合は、再度内容の展開を確認したり、学習活動3と学習活動4の「問題だと思うところ」を振り返りながら考えたりするように伝える。	